

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター
宮崎県健康増進課
宮崎県衛生環境研究所

■ 宮崎県第50週の発生動向

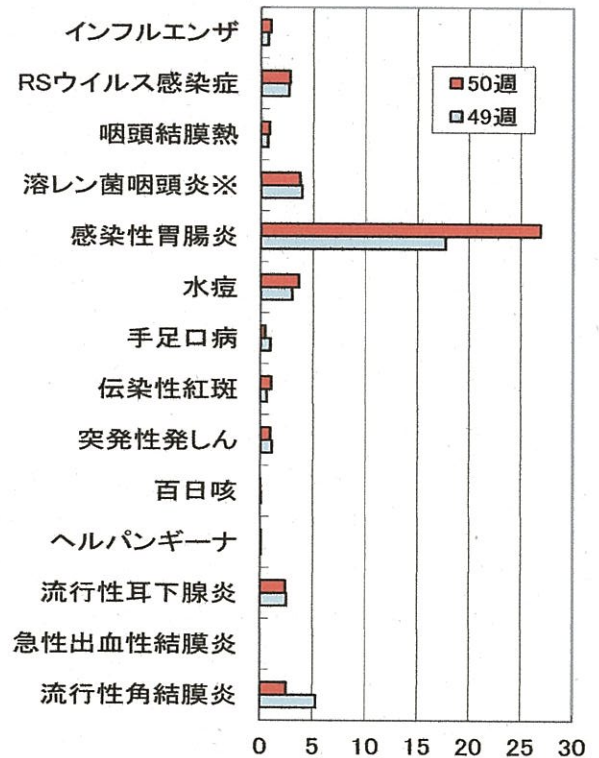
定点医療機関からの報告総数は1,606人(定点あたり46.2)で、前週比117%と増加した。

前週に比べ多かった主な疾患は、感染性胃腸炎と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は967人(26.9)で前週比152%と増加し、県全体で流行警報開始基準値を超えた。例年同時期の定点あたり平均値(18.3)と比較すると約1.5倍であった。中央(46.0)、日南(42.7)、都城(37.5)、小林(32.3)保健所からの報告が多かった。年齢別では1歳から3歳で全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は37人(1.0)で前週比168%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.13)と比較すると約8倍であった。高千穂・中央(各4.0)、都城(2.7)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では4歳から6歳で全体の約半数を占めた。

《前週との比較》



□ 感染性胃腸炎の集団発生

(第50週 平成22年12月13日~平成22年12月19日まで)

保健所名	施設の種別	件数
都城	保育所(園)	2
	老人福祉関係施設	1
延岡	保育所(園)	1

《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

疾患名	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	0.81	日南(3.0)	6ヶ月~4歳で全体の約7割を占めた。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	3.7	延岡(12.3)	3歳~7歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	26.9	中央(46.0)、日南(42.7)、都城(37.5)、小林(32.3)、高千穂(26.0)、宮崎市(23.5)、日向(20.5)	1歳~3歳で全体の約半数を占めた。
水痘	7	3.6	宮崎市(7.0)	6ヶ月~4歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.0	高千穂・中央(各4.0)、都城(2.7)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.4	日南(6.0)	2歳~5歳で全体の約6割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核3例が小林（2例）、宮崎市（1例）保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・80歳代の男性で肺結核。
 《小林保健所》・80歳代の男性でその他の結核（結核性胸膜炎）。呼吸困難がみられた。
 ・70歳代の男性で肺結核。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：○A型肝炎1例が宮崎市保健所から報告された。90歳代の女性で全身倦怠感、食欲不振、肝機能異常がみられた。
 ○つつが虫病8例が宮崎市（4例）、小林（2例）、都城・高鍋（各1例）保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・60歳代の男性で発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。
 ・50歳代の女性で発熱、刺し口、発疹がみられた。
 ・60歳代の男性で発熱、刺し口、発疹がみられた。
 ・60歳代の女性で頭痛、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。
 《都城保健所》・70歳代の男性で頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。
 《小林保健所》・60歳代の男性で発熱、刺し口、発疹がみられた。
 ・60歳代の男性で頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。
 《高鍋保健所》・60歳代の女性で発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。
- 5 類感染症：報告なし。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ インフルエンザ検出速報（平成22年12月13日～12月19日までに検体採取分）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	保健所	臨床診断名	材料	同定日
インフルエンザAH1pdm型	52	男	12.13	都城	39℃、咳、咽頭痛、全身倦怠感	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	5	男	12.15	都城	39.9℃、咳、鼻水、鼻閉、頭痛	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	7	男	12.17	宮崎市	39.0℃、頭痛、咳	鼻汁	12.21
インフルエンザAH1pdm型	7	男	12.14	都城	39.9℃、頭痛、咳	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	24	男	12.13	都城	咳、咽頭痛、筋肉痛	咽頭ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	23	男	12.14	都城	39.0℃、咳、痰、鼻水、咽頭痛、全身倦怠感	咽頭ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	22	男	12.15	都城	38℃、咳、咽頭痛、頭痛、筋肉痛	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザB型	10	女	12.16	都城	39.1℃、咳、痰、頭痛、筋肉痛	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	3	男	12.16	都城	38.0℃、咳、痰	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	3	男	12.17	都城	40.4℃、咳、けいれん	鼻腔ぬぐい液	12.21
インフルエンザAH1pdm型	8	女	12.16	都城	39℃、咳、頭痛	咽頭ぬぐい液	12.21

○都城保健所、宮崎市保健所管内でインフルエンザA型、B型の報告があった。都城の11例、宮崎市の1例について遺伝子検査を実施した結果、都城の9例と宮崎市の1例からインフルエンザAH1pdm型（新型）、都城の1例からインフルエンザB型が検出された。

□ ウイルス（平成22年12月7日～12月20日までに分離同定）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
単純ヘルペスウイルス1型	11	女	11.18	流行性筋痛症、39.8℃、咽頭炎、左肩甲骨下内側の痛み	咽頭ぬぐい液	12.8
ノロウイルスGⅡ型	1	女	12.10	胃腸炎関連けんれん、下痢、嘔気、嘔吐、無熱性けんれん頻回再発	便	12.15
ノロウイルスGⅡ型	1	女	12.13	急性胃腸炎、37.0℃、下痢、嘔気、嘔吐、けいれん	便	12.15
ノロウイルスGⅡ型	1	女	12.15	感染性胃腸炎、下痢、嘔気、嘔吐	便	12.16
ノロウイルスGⅡ型	9M	男	12.15	感染性胃腸炎、下痢、嘔気、嘔吐	便	12.16
ノロウイルスGⅡ型	11M	女	12.17	感染性胃腸炎、38.0℃、下痢、気管軟化症	便	12.17
ノロウイルスGⅡ型	3	男	12.20	感染性胃腸炎、39.9℃下痢、嘔気、嘔吐	便	12.20

○流行性筋痛症の小児から単純ヘルペスウイルス1型が分離された。

○胃腸炎の乳幼児からノロウイルスG II型が検出された。宮崎県では11月から感染性胃腸炎の報告が増え始めており、今後も増えることが考えられるので注意が必要である。

□ 細菌（平成22年11月23日～12月20日までに分離同定）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	分離材料	分離同定日
<i>Salmonella</i> Agona (O4:f,g,s:-)	40代後半	男	11.10	下痢	便	11.19
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0～4	男	11.30	気管支炎、咳	咽頭ぬぐい液	12.3
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代後半	男	11.24	咳	咽頭ぬぐい液	11.26
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代後半	男	11.24	咳	咽頭ぬぐい液	11.26
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代前半	女	11.24	咳	咽頭ぬぐい液	11.26
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代後半	男	11.25	咳	鼻汁	11.30
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10代後半	男	11.27	スタックカート(+)、レプリーゼ(-)	鼻汁	11.30

■ 全国第49週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は28.5で、前週比109%と増加した。今週増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は4,480人(0.93)で、前週比133%と増加した。佐賀県(4.9)、北海道(4.5)、長崎県(3.7)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の33%、6歳から9歳が27%、10歳から14歳が15%、15歳から19歳が3%、20歳代から50歳代が19%、60歳以上が3%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は3,448人(1.1)で、前週比122%と増加した。例年同時期の約1.4倍である。福井県(4.7)、鳥取県(3.7)、佐賀県(3.0)からの報告が多く、年齢別では2歳以下で全体の約9割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1類感染症：報告なし。

2類感染症：結核312例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症28例

4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病40例、デング熱2例、マラリア1例、レジオネラ症11例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群20例、梅毒5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例、風疹2例、麻しん7例

■月報告対象疾患の発生動向 <11月>

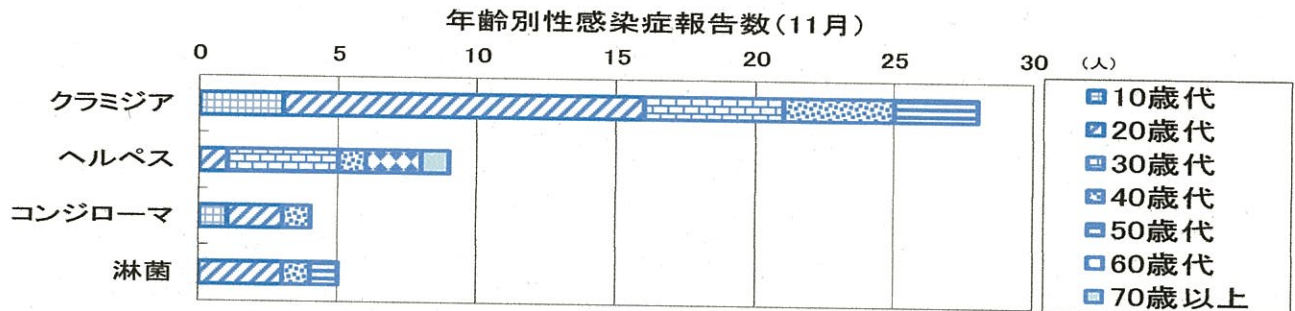
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は46人（3.5）で、前月比78%と減少した。昨年11月（2.5）の約1.4倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数28人（2.2）で、前月の約8割、前年の約1.6倍であった。宮崎市（3.5）、都城（3.0）保健所からの報告が多く、男性17人、女性11人で、20歳代が全体の約半数を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人（0.69）で、前月・前年の約1.3倍であった。男性3人、女性6人で、30歳代が全体の約4割を占めた。
- 尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月・前年の約2倍であった。男性・女性各2人で、20歳代が2人、10歳代・40歳代が各1人であった。
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約3割、前年の約7割であった。すべて男性で20歳代が全体の約6割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：967

定点医療機関からの報告総数は4,029人（4.2）で、前月比90%であった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,130人（2.2）で前月比89%、性器ヘルペスウイルス感染症684人（0.7）で前月比101%、尖圭コンジローマ427人（0.44）で前月比90%、淋菌感染症788人（0.81）で前月比84%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は42人（6.0）で前月比150%と増加した。また昨年11月（6.3）とほぼ同数であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数33人（4.7）で、前月の約1.7倍、前年の約9割であった。宮崎市（10.0）、日向（7.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数9人（1.3）で、前月の約1.1倍、前年と同数であった。宮崎市（5.0）保健所からの報告が多く、10歳未満で全体の約8割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：466

定点医療機関からの報告総数は2,417人（5.2）で、前月比105%であった。疾患別報告数はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,894人（4.1）で前月比101%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症471人（1.0）で前月比122%、薬剤耐性緑膿菌感染症52人（0.11）で前月比122%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第50週(12月13日～12月19日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	41	55		25	6		1			23	
	定点あたり	0.69	0.93	0.00	2.50	0.86	0.00	0.20	0.00	0.00	3.83	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	95	99	12	21	36		1	13		16	
	定点あたり	2.64	2.75	1.20	3.50	9.00	0.00	0.33	3.25	0.00	4.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	24	29	2	8	6	9	3				1
	定点あたり	0.67	0.81	0.20	1.33	1.50	3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	141	134	29	4	49	15	4	17	4	12	
	定点あたり	3.92	3.72	2.90	0.67	12.25	5.00	1.33	4.25	4.00	3.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	638	967	235	225	59	128	97	69	26	82	46
	定点あたり	17.72	26.86	23.50	37.50	14.75	42.67	32.33	17.25	26.00	20.50	46.00
水痘	報告数	108	131	70	14	6	7	7	16		10	1
	定点あたり	3.00	3.64	7.00	2.33	1.50	2.33	2.33	4.00	0.00	2.50	1.00
手足口病	報告数	33	15	6	8						1	
	定点あたり	0.92	0.42	0.60	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
伝染性紅斑	報告数	22	37	5	16			3	5	4		4
	定点あたり	0.61	1.03	0.50	2.67	0.00	0.00	1.00	1.25	4.00	0.00	4.00
突発性発しん	報告数	38	33	6	8	9	2	2	1		3	2
	定点あたり	1.06	0.92	0.60	1.33	2.25	0.67	0.67	0.25	0.00	0.75	2.00
百日咳	報告数	3	1			1						
	定点あたり	0.08	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2		2							
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	91	87	13	19	23	18	1	1		11	1
	定点あたり	2.53	2.42	1.30	3.17	5.75	6.00	0.33	0.25	0.00	2.75	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	32	15	13		2						
	定点あたり	5.33	2.50	4.33	0.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第50週)

2類感染症	結核	212例(3)				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	51例		
	E型肝炎	1例	A型肝炎	4例(1)		
4類感染症	デング熱	1例	日本紅斑熱	6例	つつが虫病	22例(8)
	レジオネラ症	2例	レプトスピラ症	3例	マラリア	2例
	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	9例	急性脳炎	7例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒	5例
	破傷風	5例	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲